

夕刊 磐城時報

日七十
編輯兼發行 岡田弘成
印刷 岡田弘成
發行所 磐城時報社
印刷所 磐城活版所
電話 二二四
郵政掛號 第三三三號
廣告料 一行十二字 一月五元
日刊（日曜祝祭日）五日休刊

暗嘩の腹擦せに 待ち伏せて斬る

頸動脈を断たれ即死 加害者現場で捕はる

小名濱町松の中居住無職新が出たのでそれを奪つて富
濁縣中浦原郡生れ吉澤嘉平山の咽喉部に斬りつけ頸動
（三八）は十六日夜一時半頃脈を断ち即死せしめた。急
同町上町飲食店時田三郎方報により小名濱警察派出所
コック茨城縣久慈郡久慈町から西條警部等駆けつけ加
生れ富山重信（二七）と飲酒害者吉澤を逮捕し取調べ中
中些細の事から口論を始めである。
大立廻りとなつたが仲裁人
が入つてその場は納まつた
が吉澤の憤怒晴れず、吉澤
は同町横町に富山の歸りを
待ちうけ二時半頃富山が歸
る途中再び組打ちを演じ吉
澤は富山に組伏せられたが
その際富山の懐中から短刀
が取出された。

死体解剖 検事急行

別項小名濱町の殺人事件
は同町横町に富山の歸りを
待ちうけ二時半頃富山が歸
る途中再び組打ちを演じ吉
澤は富山に組伏せられたが
その際富山の懐中から短刀
が取出された。

石城梨子出廻る

昨年より二割高値 郡農會で共同出荷

石城郡下の梨子はそろ／＼好問、内郷の各村から續々
出廻りに入つたので郡農會出荷される管であるが、そ
で例年通り共同出荷の管の数は昨年の百車に比べ
旋をなす事となり準備をす五十車位であらうと言はれ
てゐるが、昨年は十八日大で出荷先は何れも東
野村薬王寺果樹組合から長
十郎梨子一車（八噸）の出荷
がある管で青山技師が出張
する。この外小川、赤井、
足なので昨年より二割位
の合計二千五百九十七
越の増るに氏を敬送せんと
して同零四永山一郎（假名）
が歸途

鑛山技術員 講習所開設

國家産業開發の見地から地
方に於ても鑛山技術者養成
機關創設の計劃ある旨既報
の通りであるが、平安南道
でも晩近鮮肉鑛業躍進伸展
に伴ひ當該技術員の不足を
感し之が補充に相當困難を
感じつつある現状に照し來
月二日より講習所を開設す
る事となり初等科専程度

小川村 國婦發會式

小川村では十八日の満洲
事變記念日を卜して國防婦
人會の發會式を舉行する。
郡農會柴田技師の時局と農
村婦人の覺悟についての講
演がある。

夏枯時を越して 常磐出炭増加

九月上旬の炭礦況

去月中舊盆休みで若干の赤加を示し需要當初の明る
字を見せた常磐炭山元發送さを見せである。
高は今月上旬に於て完全に
従来の正常に復歸した。即
ち去る一日以降十日迄の發
送高は
事業用 三、七七〇車、四
七、九五越、鐵道用一、
二、六九車、一、八四一越
合計五、〇三九車、六、四
六三六越

小學生斃死事件で 教員の責任問題

渡邊村々長高木善枝氏は陸村小學校四年以上の生徒は
軍歩兵中尉として軍籍にあ泉驛まで見送りに出かけた
處から時局に鑑み村長を
辭し出征を懇願したのでこ
の程應召するに至つた。然
般の歡送者が解散すると、
務所に於て入賞者に對する
褒狀並に賞品授與を行つた
御護摩の行願だ。

第四校兒童が 夏休み中養蠶

一蛾育て百三十圓

平第四小學校では高等一年二十錢で賣却した。品評會
二年の兒童に夏期家庭一受賞者左の如くである。
蛾育てを實施し學校に集積し一等 高二矢内一子
品評會を開き三十二貫八
百を大倉組に百三十一圓
漸マナ子、高二吉田佳平

朝鮮人が献金 高まる銃後の支援

市内古銀冶町古物商朝鮮生石を拾はんとして腰を屈し
森本漢三郎（四二）氏は同利那猛進して來たトラツ
僚十名に日支事變による國
防献金の件を相談し八圓三
十錢を纏めて十六日平市役
所に慰問費として寄附した
り通勤の松田女教員まで歡
送後通勤の關係から生徒と
別れて歸宅するに至つた後
の出來事のため父兄側では
松田教員に非難を浴びせか
ける情勢となり、一方校長
の責任問題など起らんとす
要視されてる。

百圓以上 戸數割

（二〇三）
八二四、八六番匠町堀江
正茂 六五、〇四手掘町
加美山武夫 八九、〇二
丹野英治 五三、五七中
鹽矢吹興助 五一、二六
松本徳一
△訂正 昨報掲載諸橋久太
郎氏分七〇七、一一とあ
るは二七〇七、一一の誤
植。

苗代品評會 褒賞授與式

石城、双葉、相馬三郡農會
聯合主催苗代共進會は豫ね
審査を了してゐたが十七
日午後一時平市石城農會事
務所に於て入賞者に對する
褒狀並に賞品授與を行つた
御護摩の行願だ。

赤井嶽 登山記念

ふたたび赤井嶽にのぼる。
御護摩の行願だ。

油を搾取

小名濱町町草野捨造氏は
醬油醸造に一大改革の先鞭
をつけ郡内醸造家に對し多
くの覺醒を與へ來たのであ
るが、此種日支交戦の結果
ガソリン不足を告げた昨今
これが補充方法は國家的事
業の一つだとして種々苦心
した結果醬油槽より油搾取
の研究をなし試験の結果は
好成績を擧ぐるに至り歩合
も二十乃至三十の好率
のものといへるを以て非
常の高評を博するに至つた
氏は更に蠶の蛾よりも油搾
取の見込みある事を講究し
片倉製糸場と交渉中である
が時節柄目してその結果
を注視してゐる。

某店に寄る、Kが空腹を訴へるので東の餛飩を買ひ求の鍋火にかけ速製料理で腹をこしらへる。元氣恢復同葛尾村松本忠致、相馬郡新館大須組合管野西治、同山上玉野組合佐藤米保、☆二等石城郡緑川登外五、二名、双葉郡木好正外五、三名、相馬半谷伏外六名、三等石城郡平子時太郎外五十一名。

御挨拶

私儀今度入隊に際しては格別の御芳情を辱ふし寔に有難く衷心より御禮申し上げます。
 入隊中は勿論一意軍務に専心致して皆様の御期待に添ふやう努める所へであります。
 尙小生留守中は後人主任として醫學博士吉岡勝衛氏を迎へ且亦顧問として内木博士の御援助を仰ぐ事になりましたから今後とも尙一層の御同情を御願ひ申し上げます。
 先は御禮旁々御挨拶まで。
 昭和十二年九月十三日
 四倉本町
木村守江

國威奮起

國民体育向上
 秋のスポーツ来る!!

★野球、庭球用具...特賣
 ★各種運動服...特賣
 △非常時は足元から御用意下さい!
 國防靴、茶利革自製品
 金七圓訓練に工場靴に

出征：歓迎の旗
 新型の京都製品の優美な旗
 ワキンドに陳列有ります。
 團旗、校旗、會旗、御注文を...
 出来上り一週間以内
 京都兒島代理店
大塚
 平市田町銀座通り
 電話七十七番

かまぼく大造 製
 折詰生魚
 お惣菜用さつま揚。吉原揚
 平町一丁目
天海堂
 電話一四一番

北川外科
 平市新川町二七 (諸橋醫院跡)
 醫學博士 北川芳夫
 技師 小林良次
 電話四六四番

三井質店
 公債・債券・質物一般
 平市四丁目
 電話六〇六番

中野齒科醫院
 院長 日本齒科 中野 憲次
 醫學士 西川 誠
 診療科目
 一般 補綴科 保存科 矯正科 小兒科 齒槽膿漏科 口腔外科
 平市田町(松月堂向)
 電話五〇九番
 ◆看護婦至急募集

東京市下谷區仲御徒町三丁目
 省線御徒町驛前
東京女子洋裁學校
 電話下谷三二七番

松村 胃腸病科 専門
 胃腸病科 花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科
 平市南町 (電話七〇一)
松村醫院

高久病院
 平市田町 (電話五二三番)
 院長 高久 忠
 副院長 赤羽 清
 藥局長 佐竹 菊雄
 診療科目
 內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科
 レントゲン科

土地・建物・電話金融
 種狸分讓
 平市搔埴小路一
乾産業合資會社
 電話五五五番

開院廣告
平病院 電話六四一番
 平市警察署側 (元共濟病院跡)
 院長 醫學博士 鈴木定藏

內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
 小兒科 部長 醫學士 木下基一
 產婦人科 部長 醫學士 池谷宗二郎
 皮膚泌尿器科 部長 醫學博士 鈴木定藏
 レントゲン科 技師 岡田重徳
 物理療法科 技師 岡田重徳
 藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平
 ◎診療時間 每日午前八時ヨリ午後九時迄
 夜間診療ニ從事ス
 往診隨時 入院隨時 (自炊ノ便アリ)
 病室完備 入院隨時 (自炊ノ便アリ)
 入院料 一日 特等貳圓、一等壹圓五拾錢
 二等壹圓參拾錢

魚召すちら
ヒシマル凍魚
 鯛 マナ鯉 ワカサギ
 エビ 甘鯛 帆立貝
 白魚 カナ頭 うじ貝焼
 日本産手締り電話三三三六番
 平製氷會社
 平市魚肉屋
 電話五二八番
 新鮮な冷凍具焼あります

吉田眼科醫院
 平市紺屋町(電話六八番)